

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	6 都市・交通
----	---------

政策	3 安心とうるおいのある住環境の整備を推進します
----	--------------------------

施策	1 災害に強いまちづくりの推進
----	-----------------

施策の目的	今後、発生が予想される南海トラフ巨大地震（静岡県第4次被害想定）では、人的・物的ともに甚大な被害をもたらすことが想定されています。その被害から、市民の安心・安全を確保するため、土砂災害等防止対策や、公共建築物の耐震化を進めるとともに、民間建築物の耐震化を支援することで、安全で快適な住環境を確保し災害に強いまちづくりを推進していきます。
-------	--

評価責任者	所属	都市局 建築部 建築指導課
	氏名	課長 浅場 俊之

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標のうち、公共建築物の耐震化率は目標値を達成、民間住宅の耐震化率は目標値を下回っているが、着実に耐震化率は向上している。以上のことから、施策の目的は概ね達成されていると判断し、総合評価は「A」とした。
	令和2年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標のうち、公共建築物の耐震化率は目標値を達成、民間住宅の耐震化率は目標値を下回っているが、着実に耐震化率は向上している。以上のことから、施策の目的は概ね達成されていると判断し、総合評価は「A」とした。
	令和3年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標のうち、公共建築物の耐震化率は目標値を達成、民間住宅の耐震化率は目標値を下回っているが、着実に耐震化率は向上している。以上のことから、施策の目的は概ね達成されていると判断し、総合評価は「A」とした。
	令和4年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標のうち、建築物の耐震化率は目標値を概ね達成しており、着実に耐震化率は向上している。以上のことから、施策の目的は達成されていると判断し、総合評価は「A」とした。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。－：評価できない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率 (%)	評価	目標値の算出根拠
成果指標	公共建築物の耐震化率	96.4% (H30年度)	1	96.8%	97.0%	100.2%	a	H30年度末：耐震化率96.4%→R4年度末：耐震化率98.0%（1.6%up）（第3次総合計画後期目標） 【年間目標値】1.6%÷4年間=0.4%up <参考>H30年度末：全体棟数 731棟※学校施設は除く （耐震対策済施設 705棟 耐震対策必要施設 26棟） ※1 R3.4.1施行の第3次静岡市耐震改修促進計画（R3年度～R7年度の5か年計画）により、耐震化率の推計方法を変えたため、R3、4年度の目標値を修正（R3：96.2%→92.1%、R4：97.4%→92.8%） R1年度末：耐震化率90.7%→R7年度末：耐震化率95.0%（4.3%up）（第3次静岡市耐震改修促進計画目標） 【年間目標値】4.3%÷6年間=0.716%up
			2	97.2%	97.8%	100.6%	a	
			3	97.6%	98.4%	100.8%	a	
			4	98.0%	98.6%	100.6%	a	
	民間住宅の耐震化率	90.2% (H30時点)	1	93.8%	90.5%	96.5%	a	
			2	95.0%	91.1%	95.9%	a	
			3	92.1% ※1	91.5%	99.3%	a	
			4	92.8% ※1	92.6%	99.8%	a	
指標成果以外の			1					
			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
土砂災害等防止対策事業（公園）	公園周辺の民家等における土砂災害等を防止するための対策施設を整備 ①対象公園の土砂災害特別警戒区域の調査 ②土砂災害等防止対策施設の設計 ③土砂災害等防止対策施設の整備	6	1	77,905	101,910	114,094	3.0	0.0	0.0	○
			2	57,284	121,870	179,154	2.0		0.0	
			3	140,000	0	51,040	2.0		0.0	
			4	9,758	88,960	93,778	1.0		0.0	
公共建築物の耐震対策の推進	南海トラフ巨大地震に備えた公共建築物の耐震化（耐震対策推進計画の推進）	1	1	0	0	0	1.0	0.0	0.0	○
			2	0	0	0	1.0		0.0	
			3	0	0	0	1.0		0.0	
			4	0	0	0	1.0		0.0	
要安全確認計画記載建築物耐震対策事業	要安全確認計画記載建築物の耐震対策への助成	3	1	0	0	0	0.5	0.0	0.0	△
			2	3,750	0	911	1.0		0.0	
			3	20,330	0	3,813	1.0		0.0	
			4	2,987	0	0	0.0	0.0		
要緊急安全確認大規模建築物耐震対策事業	要緊急安全確認大規模建築物の耐震対策への助成	4	1	75,641	0	9,813	1.5	0.0	0.0	○
			2	12,266	0	11,193	1.0		0.0	
			3	14,500	0	14,500	1.0		0.0	
			4	16,355	0	11,971	1.0		0.0	
建物の耐震化事業	住宅・建築物の耐震対策への助成	2	1	291,643	7,177	152,719	2.1	0.5	0.1	△
			2	121,858	15,505	104,059	2.1		0.6	
			3	160,732	21,200	108,802	2.1		0.6	
			4	129,254	46,467	170,973	2.1		0.6	
ブロック塀等耐震改修事業	ブロック塀等の耐震対策への助成	5	1	122,725	0	30,381	0.1	0.5	0.3	△
			2	33,296	0	31,925	0.1		0.8	
			3	23,000	0	14,466	0.1		0.8	
			4	20,230	0	7,778	0.1		0.8	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、－：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後の取組や方向性

【公共建築物の耐震化】

本施策は総合評価欄のとおり期待どおりの成果をあげることができたが、現在、未対策施設の一部に耐震対策の遅れが生じていることを課題として捉えている。このため、静岡市公共建築物耐震対策推進計画に基づき、耐震対策のスケジュールを確認し、早期に公共建築物の耐震化を進められるように施設所管課へ働きかけるなど、残り少ない未対策施設について、公共建築物の耐震化の実施に向けて引き続き取り組んでいく。

【民間建築物の耐震化】

本施策は総合評価欄のとおり期待どおりの成果をあげることができたが、運用に当たり間接補助のため、予算通りに執行できないことを課題として捉えている。このため、第4次総合計画に建物の耐震化を位置づけ、建物所有者への耐震化の必要性および補助制度の周知、啓発の取組を強化していくことで課題の克服を目指しつつ、今後も建物の耐震化の推進に向けて引き続き取り組んでいく。

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	6 都市・交通
----	---------

評価責任者	所属	都市局 建築部 住宅政策課
	氏名	課長 清水 一弘

政策	3 安心とうるおいのある住環境の整備を推進します
----	--------------------------

施策	2 人や環境にやさしい住環境の整備
----	-------------------

施策の目的	市民生活の基盤となる住環境は、少子高齢化の進行や環境保全意識の高まりの中、高齢世帯、子育て世帯などの居住ニーズや、世帯分離、晩婚化などの家族形態の多様化も進んでおり、住環境の整備にあたっては新たな視点による取組みが必要となっています。 そこで、市民の豊かな住生活の実現に向け、住宅政策の基本的な方向性や施策を示した、「静岡市住生活基本計画」を改定します。また、健全な住宅地を形成する区画整理事業や、市営住宅の適正規模化や長寿命化を進めるアセットマネジメント促進事業を実施するとともに、民間住宅の環境負荷の低減を図る長期優良住宅の普及に努め、人や環境にやさしい住環境の整備を目指します。
-------	---

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	<ul style="list-style-type: none"> 民間住宅施策について、着実に長期優良住宅の普及件数を積み上げており、良質な住宅ストックの形成に寄与している。 市営住宅の住戸改善について、子育て世帯などのニーズに対応した整備を実施した。 三保羽衣区画整理事業の進捗により、住環境が整備された。 アスベスト除去等支援について、4件の対象物件を分析調査した結果、アスベストが検出されなかった1件を除く3件について予定どおり実施した。
	令和2年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	<ul style="list-style-type: none"> 民間住宅施策について、着実に長期優良住宅の普及件数を積み上げており、良質な住宅ストックの形成に寄与している。 市営住宅については、住戸改善や給排水設備の改修等により、住環境の整備を実施した。 三保羽衣土地区画整理事業は、令和2年度末に全ての事務処理が終了し事業は完了した。 アスベスト除去等支援について、6件の対象物件を分析調査した結果、アスベストが検出されなかった1件を除く5件について予定どおり実施した。
	令和3年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	<ul style="list-style-type: none"> 民間住宅施策について、着実に長期優良住宅の普及件数を積み上げており、良質な住宅ストックの形成に寄与している。 市営住宅については、住戸改善や給排水設備の改修等により、住環境の整備を実施した。 アスベスト除去等支援について、コロナ禍の社会状況変化により、所有者の事業や経済状況から、補助事業の活用件数が減少傾向にあるため、基本目標である4件を下回り、3件のアスベスト除去等支援の実施となった。
	令和4年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、所有者の経済状況等を理由にアスベスト除去等の補助活用件数が目標には届かなかったが、民間住宅施策では、着実に長期優良住宅の普及件数を積み上げていて、良質な住宅ストックの形成に寄与できた。また、市営住宅の住戸改善事業では、国費の示達額の認証減により改善住戸数は減少したものの、与えられた予算を執行し、着実に改修工事等による住環境の整備が実施できたことから、総合評価を「A」とした。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。－：評価できない。
※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率 (%)	評価	目標値の算出根拠
成果指標	長期優良住宅の普及件数	8,848件	1	11,046件	10,882件	98.5%	a	長期優良住宅の普及件数 平成21～27年度の累積認定件数の平均値（968件/年度）に100件を加えた1,068件/年度（累計14,250件）を目標値に設定した。 なお、目標値については、平成26年度に設定した平成34年度（令和4年度）の目標件数を平成30年度に達成する見込みとなったため、平成31年3月に目標値を見直した。
			2	12,114件	11,815件	97.5%	a	
			3	13,182件	12,961件	98.3%	a	
			4	14,250件	14,270件	100.1%	a	
	市営住宅の住戸改善を実施した割合	362戸	1	406戸	402戸	98.5%	a	
			2	448戸	428戸	95.5%	a	
			3	483戸	467戸	96.7%	a	
			4	524戸	481戸	91.8%	b	
	アスベスト除去等支援件数	4件	1	4件	4件	100.0%	a	
			2	6件	6件	100.0%	a	
			3	-	3件	-	-	
			4	4件	2件	50.0%	d	
指標以外								

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額 (千円)	前年度からの 繰越額 (千円)	決算額 (千円)	人工			達成 状況
							正規	非常勤	臨時	
住生活基本計画の推進	居住ニーズが大きく変化をしている現状を捉え、人口減少対策・定住促進に資する施策を実施	6	1	0	0	0	0.5	0.2	0.0	○
			2	0	0	0	0.5	0.2		
			3	0	0	0	0.5	0.2		
			4	8,400	0	4,356	0.5	0.2		
市営住宅耐震対策事業	耐震性能が劣る市営住宅の耐震対策（解体）	5	1	22,000	0	19,187	0.5	0.2	0.0	○
			2	16,225	0	14,676	0.5	0.2		
			3	80,512	0	49,407	0.5	0.2		
			4	34,300	0	28,193	0.5	0.2		
市営住宅アセットマネジメント促進事業	市営住宅ストック数の適正化に向けた施設改修	1	1	541,637	0	485,044	1.5	0.5	0.0	○
			2	441,832	0	433,899	1.5	0.5		
			3	571,060	0	709,838	1.5	0.5		
			4	370,989	0	213,285	1.5	0.5		
市営住宅の外壁全面打診調査・改修事業	市営住宅の外壁全面打診調査及び改修	4	1	19,800	0	15,354	0.5	0.2	0.0	○
			2	8,900	0	8,360	0.5	0.2		
			3	16,900	0	13,288	0.5	0.2		
			4	10,800	0	8,324	0.5	0.2		
安倍口団地居住機能再生推進事業	安倍口団地の老朽化した市営住宅の解体や給排水管改修、解体後跡地の活用	2	1	143,500	0	81,421	1.5	0.5	0.0	○
			2	364,751	0	128,098	2.0	0.5		
			3	272,431	0	294,640	2.0	0.5		
			4	534,831	0	403,368	2.0	0.5		
空き家情報バンク登録・活用事業	空き家情報バンク登録物件を自ら居住する目的で購入した者に対する住宅改修費用の助成	3	1	5,800	0	1,789	1.0	0.0	0.0	○
			2	1,700	0	1,000	1.0	0.0		
			3	5,000	0	1,700	1.0	0.0		
			4	5,000	0	3,059	1.0	0.0		
民間建築物アスベスト対策事業費	民間建築物のアスベスト分析調査及び除去等の助成	7	1	3,700	0	2,480	1.0	0.0	0.0	△
			2	4,900	0	3,509	0.4	0.0		
			3	4,900	0	1,832	0.4	0.0		
			4	3,700	0	854	0.4	0.0		
三保羽衣土地区画整理事業	区画整理による自然と調和した良好な住環境の整備に対する支援	8	1	41,950	34,627	75,758	4.5	0.0	0.0	○
			2	21,580	0	21,580	1.5	0.0		
			3	0	0	0	0.0	0.0		
			4	0	0	0	0.0	0.0		

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、－：計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後の取組や方向性

- ・ 市営住宅アセットマネジメント促進事業及び安倍口団地居住機能再生推進事業等は、総合評価欄のとおり期待どりの成果をあげることができたため、第4次総合計画でも市営住宅ストック数の適正化に向けた施設改修に取り組んでいく。
- ・ 民間建築物アスベスト対策事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、所有者の経済状況等を理由にアスベスト除去等の補助活用件数が目標には届かなかったが、引き続き個別計画等で、アスベストの状況調査の未報告となっている施設所有者に直接訪問し、必要に応じて分析調査及び除去の補助制度案内をしていく。
- ・ 三保羽衣土地区画整理事業については、当初計画どおり令和2年度中に終了することができ、目的である「区画整理による自然と調和した良好な住環境の整備」を達成することができた。

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	6 都市・交通
----	---------

政策	3 安心とうるおいのある住環境の整備を推進します
----	--------------------------

施策	3 調和のとれた都市景観と緑あふれる環境の創出
----	-------------------------

施策の目的	静岡市景観計画に定める景観形成基準に基づき、大規模建築物等の景観についての規制誘導を図り、地域にふさわしく親しみや心地よさを感じる景観の形成と保全を行います。 また、駿府城公園とその周辺を1000本桜による「桜の名所」とする整備や、麻機遊水地の自然環境を活かした整備、及び、広域の利用者を供する富士川緑地などの大きな公園や、地域住民が歩いて行ける身近な街区公園を整備し、レクリエーション、憩い、住環境の向上、防災などに資する、緑あふれる環境を創出します。
-------	--

評価責任者	所属	都市局 都市計画部 緑地政策課
	氏名	課長 塩澤 友宏

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	桜の名所づくりによる桜の総本数、景観地区の行為の完了届出率については目標を概ね達成しており、公園・緑地の整備による一人当たり公園面積、あさはた緑地交流広場の利用者満足度についても概ね予定どおりに進捗しているため、総合評価を「A」とした。
	令和2年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	桜の名所づくりによる桜の総本数、景観計画区域における行為の完了届出率については目標を概ね達成しており、また、公園・緑地の整備による一人当たり公園面積についても概ね予定どおりに進捗しているため、総合評価を「A」とした。あさはた緑地交流広場の利用者満足度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが中止となり利用者満足度のアンケートを実施することができず実績値の確認が困難であった。
	令和3年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	新型コロナウイルス感染症の影響の中、感染症対策を十分に図り実施したイベントのアンケート結果から、あさはた緑地交流広場の利用者満足度については目標を上回った。また、桜の名所づくりによる桜の総本数、景観地区の行為の完了届出率については目標を概ね達成しており、公園・緑地の整備による一人当たり公園面積についても概ね予定どおりに進捗しているため、総合評価を「A」とした。
	令和4年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	新型コロナウイルス感染症による規制も緩和されつつある中、あさはた緑地交流広場利用者の増加やイベント開催の再開により利用者満足度については目標を達成することができた。また、駿府城公園及びその周辺における桜の総本数についても、植樹本数が間引き本数を上回り、目標を達成することができた。一人当たり公園面積については、大幅な面積の増加はないものの、計画的な整備により概ね予定どおり進めることができた。よって総合評価は「A」とした。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。－：評価できない。
※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
成果指標	一人当たり公園面積	6.51㎡ (平成30年度)	1	7.03	6.58	94.0%	b	「静岡市みどりの基本計画」及び「静岡市都市公園条例」において、みどり豊かで快適な静岡市の形成、生活環境の向上に向けて、市民一人当たり公園面積の増加を目指しており、目標値の設定にあたっては、静岡市第3次総合計画に基づく公園整備計画との整合を図っている。
			2	7.35	6.64	90.3%	b	
			3	7.66	7.00	91.4%	b	
			4	8.00	7.04	88.0%	b	
	景観計画区域内における（大規模建築物等）行為の届出のうち、行為が完了した際の届出件数の割合	88.4% (平成30年度)	1	100%	98.1%	98.1%	a	
			2	100%	95.0%	95.0%	a	
			3	100%	99.5%	99.5%	a	
			4	100%	97.40%	97.40%	a	
	あさはた緑地交流広場の利用者満足度	84.7% (令和元年度)	1	-	84.70%	94.1%	b	
			2	-	-	-	-	
			3	86%	95.77%	111.4%	s	
			4	88%	95.85%	108.9%	s	
	駿府城公園及びその周辺における桜の総本数	861本 (平成30年度)	1	867	859	99.1%	a	
			2	859	868	101.0%	a	
			3	868	873	101.0%	a	
			4	873	875	100.2%	a	
成外指標								

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
①良好な都市景観の形成	①景観法及び静岡市景観計画に基づく大規模建築物等の届出に関する審査及び景観協議	7	1	0	0	0	0.4	0.0	0.0	○
			2	0	0	0	0.4		0.0	
			3	0	0	0	0.4		0.0	
			4	0	0	0	0.4	0.0	0.0	
②麻機遊水地関連事業 あさはた緑地整備事業	①麻機遊水地保全活用推進協議会（負担金支出） ②河川海岸環境整備事業（負担金支出） ③公園施設の設計・整備：約6ha ④あさはた指定管理料	4	1	115,977	23,617	139,585	1.4	0.0	0.0	○
			2	191,994	127,560	252,517	1.4		0.0	
			3	110,587	64,289	174,636	1.4		0.0	
			4	77,397	0	72,931	2.0	0.0	0.0	
③東御門橋(駿府城公園)架替え事業	橋梁架け替え整備	8	1	9,672	0	9,672	1.0	0.0	0.0	○
			2	3,691	104,500	108,191	1.2		0.0	
			3	0	0	0	0.0		0.0	
			4	0	0	0	0.0	0.0	0.0	
④公園・緑地の整備	①みどりの基本計画改定業務 ②公園用地の取得のための用地測量業務	3	1	349,800	731,465	892,359	4.0	0.0	0.0	○
			2	616,531	190,051	559,739	3.0		0.0	
			3	183,372	258,595	420,472	5.0		0.0	
			4	110,788	0	60,042	2.0	0.0	0.0	
⑤（仮称）大内新田公園整備事業	①関係機関との協議調整 ②地域説明会への参加	6	1	0	0	0	0.0	0.0	0.0	○
			2	0	0	0	0.1		0.0	
			3	0	0	0	0.1		0.0	
			4	0	0	0	0.5	0.0	0.0	
⑥大浜公園再整備事業	①実施方針及び要求水準の作成及び公表、事業者の選定及び公表 債務負担行為の議決、入札公告	1	1	615	13,997	14,612	1.5	0.0	0.0	○
			2	0	0	0	1.5		0.0	
			3	0	0	0	1.5		0.0	
			4	394,094	0	36,784	2.5	0.0	0.0	
⑦鯨ヶ池周辺整備可能性調査	①鯨ヶ池周辺整備基本計画についての関係者合意異形成の実施	5	1	3,000	0	2,860	1.0	0.0	0.0	-
			2	4,850	0	3,850	1.0		0.0	
			3	4,700	0	3,520	1.0		0.0	
			4	5,830	0	0	0.0	0.0	0.0	
⑧駿府城公園「桜の名所」づくり事業	①駿府城公園及び三の丸区域へ桜の植樹 ②桜の樹勢回復	2	1	566	0	566	0.5	0.0	0.0	○
			2	0	0	0	0.5		0.0	
			3	0	0	0	0.5		0.0	
			4	0	0	0	0.5	0.0	0.0	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、－：計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後の取組や方向性

本施策は、総合評価欄のとおり施策の目的を達成することができた。
第4次静岡市総合計画の実施計画に位置づけている麻機遊水地関連事業・（仮）大内新田公園整備事業・大浜公園再整備事業・鯨ヶ池周辺整備事業および駿府城公園再整備事業をはじめとする公園・緑地の整備について、目的の達成に向け今後も引き続き取り組んでいく。